

ゴールド認定のインセンティブ活用 補助金活用で要件緩和メリット享受

戸建てを中心に約1,000件に導入 将来を見据え合理化が不可欠に

養蚕を祖業とする有限会社横嶋商店は、しなの鉄道屋代駅のすぐ近くに会社を構え、創業時から養蚕のほかに薪を少し扱ってきた。燃料業を本格的に始めたのは昭和33年頃で、高度経済成長の波に乗り、LPガスの販売を手掛けるようになった。横嶋仁社長は創業者から数えて3代目。地域とともに発展を遂げてきた(有)横嶋商店は、千曲市を中心に長野市や坂城町など近隣にも顧客を抱える。しかし、近年は地場都市ガス会社による導管の延伸で都市ガスへの転換、オール電化、高齢化のあおりを受けての自然減などがあり、顧客は漸減している。将来を見据え、合理化や新たな取り組みは避けられない状況にあった。

その打ち手の一つとして、令和5年度構造改善推進事業を活用し、集中監視システムの導入を進めた。(有)横嶋商店は以前から集中監視の普及に取り組んでおり、令和5年度の構造改善支援事業に採択され、戸建て住宅を中心とした1,097件に集中監視を導入した。現在の同社の集中監視網の基盤を築いたのがこの時だ。

さらにさかのぼると、ガスメーターメーカーのNCUを導入していた時期があったが、構造改善支援事業の補助を受けた際に、通信システム会社のNCUに全面的に切り替え、同社の集中監視センターも利用するようになった。



集中監視システム100%設置を目指す横嶋商店

経年NCUのリプレースを機に 再び構造改善事業の利用を決断

それから約10年が経過し、NCUのリプレースを考える必要が出てきた。順次置き換えていくため、再び補助金を活用することとし、今回の構造改善推進事業の利用を決めた。

事業の推進役を務めた齊木郁さんは、申請にあたって「通信システム会社さんが間に入って手伝ってくれたため、非常に助かった」と振り返る。実は当初は令和4年度補正予算分の配送合理化補助金を申請したが、補助率の変更などを受けて申請が通りにくいのではないかと考え、構造改善推進事業を利用するよう方向転換した。

こうした経緯もあったことに加え、交付決定から事業完了までの期間が限定されていたため、慌ただしかった。しかし、大きな問題などは発生せず、無事に補助対象の521件の設置を終えること

ができたという。

集中監視普及率が90%超え ゴールド保安認定を取得

(有)横嶋商店では、今回の補助を契機に集中監視設置率を100%に近づけることを目指しており、今年(令和6年)は令和5年度の配送合理化補助金を活用する。リプレース中心だがNCU未設置の供給先を含む約350件分を設置する構えだ。

構造改善推進事業を活用したことで集中監視の比率が90%以上にまで高まったことから、令和6年6月には第一号(ゴールド)保安認定事業者の認定を取得した。保安認定事業者のインセンティブで、点検と調査の頻度が4年から5年に1回となったことが、今回の補助金活用で実現できた最大のメリットという。

特に集合物件は、入居者に保安業務への理解を得ることが難しいケースも多い。1年間の猶予が加わることで、余裕を持って保安業務の遂行に当たれる。

LPWA導入で人的負担軽減 配送予測が一層立てやすく

こうした保安徹底の後押しに加え、LPWAの導入は人的負担の軽減につながることも大きく、社内の働き方改革に効いている。

(有)横嶋商店では配送を委託せず自社で行っているため、検針業務がなくなることで、その時間を配送に充てられるようになった。加えて、配送予測も一層立てやすくなり、従業員と月10日間雇用する配送員で無理なく業務が遂行できる体制を築いた。

集中監視の比率を高めた先には、ウェブ明細の導入も視野にある。10月に郵便料金の値上げがあったため、顧客に利用明細を郵送するコストは馬

鹿にできない。今後どうするべきか、基幹システムベンダーと協議中だ。

一方で、料金のウェブ請求化までは踏み込まない考えだ。横嶋商店では顧客の8割が口座振替で、残る2割が対面で集金している。対面での集金を望むのは、接点を求めている顧客であるため、無理に変えるつもりはないという。

システム導入は毎年段階的に 効率化で人的資源を有効活用

これから構造改善推進事業に取り組む事業者へのアドバイスを尋ねると、横嶋社長は「一遍に導入してはいけない。過去に一度にまとめて設置したために、当社では交換の時期が重なってきてしまった。電池が切れるタイミングの問題もある。金銭的にメリットがあったとしても、一度にはやらず、毎年段階を踏んでいくべきだ」と話してくれた。

事業環境について「このあたりは、都市ガス転換でやめてしまった販売店もある」と話す横嶋社長。取り巻く環境は容易ではないが、LPガス事業に近い領域で多角化を図っており、平成29年に始めたコインランドリーは令和6年に7号店を出店した。本業のLPガスで効率化を図り、人的資源の有効活用を図れる体制を整えたうえで、前向きに立ち向かっている。



事業多角化でコインランドリーを展開

L PWA通信システムの実態調査票

事業者名	有限会社 横嶋商店	フリガナ	ヨコシマ イチャ コシマシヤウテン
所在地	千曲市大字桜堂500-3	ホームページ	なし
代表者	横嶋 仁	従業員数	8 名
事業責任者名	齊木 郁	役職	事務 経理担当
担当者名	同上	部署・役職	同上
電話番号	026-272-2534	メールアドレス	yokosima@blue.ocn.ne.jp
お客様件数	1,816 件／うち家庭用 1,690 件、業務用 126 件		
主な事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ L Pガス販売 ・ コインランドリー運営 ・ 灯油販売 ・ 設備工事 		
会社の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に密着した企業であり、顧客との距離が近く、地域のことをよく知っている ・ 地域密着の強みを生かしたコインランドリー経営（7店舗） 		

L PWA通信システム設置件数と設置率	設置件数(導入後)	1,816件	／設置率(導入後)	62.2%
	設置件数(導入前)	1,129件	／設置率(導入前)	90.9%
	導入前比増加件数	521件	／導入前比増加率	28.7%
活用方法	<input type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input checked="" type="checkbox"/> 保安			
	<具体的な活用方法> 集中監視自体は2013年の構造改善推進事業の補助金などを活用して導入していた。 今回は、集合住宅など遠隔検針が未導入だった供給先への導入で利用。 補助金活用直後の設置率は上記の通り90.9%だが、その後も設置を進め、 2024年10月時点の設置率は約95%。			
導入目的	<申請前における問題点> 検針業務にかかる人的負担があった。 働き方改革を進めるため、合理化が課題だった。			
	<期待した導入効果> 人的負担を軽減することによる働き方改革、保安の徹底。			
導入費用	総額	5,450,000円	／内補助金対象額	3,450,000円
	補助金額	1,725,000円		
導入期間	補助金申請日	西暦 2023 年 6 月 15 日		
	機器設置完了日	西暦 2024 年 1 月 26 日		
	所要期間	7 カ月		
実行体制	合計	5 名	／うち社内	2 名、社外 3 名

導入までのスケジュール			
・仕様検討	4月～	5月	(1ヵ月)
・メーカー選定	4月～	5月	(1ヵ月)
・設置先選定	4月～	5月	(1ヵ月)
・補助金申請書作成	4月～	5月	(1ヵ月)
・事前調査	8月～	9月	(1ヵ月)
・事前周知	8月～	9月	(1ヵ月)
・設置工事	10月～	11月	(1ヵ月)
・試験運用	12月～	1月	
・本格運用	1月～		
・メーカー講習会	12月		
・その他()	月		
通信機器メーカーの選定理由	L PWA導入以前から端末を利用していたため決定		
導入・設置を進める中で生じた問題点と改善策	補助金交付が決定し、設置するまでの期間に余裕がなかったため、タイトなスケジュールとなったこと。通信システム会社のサポートにより乗り切った。		
導入後の効果(コスト面、効率化、お客様の反応等)	<p>検針業務に充てていた時間を他の業務に充てられるようになった。</p> <p>ゴールド保安認定事業者の認定取得につなげられたため、点検・調査の頻度が4年から5年に1度になり、余裕が生まれた。</p> <p>お客さまからは、大きな反応はない。</p>		
事業における導入後の影響や変化(お客様対応、社内体制等)	委託せず自社で配送しているため、配送にかけられる人手を増やすとともに、効率的な働き方ができるようにした。		
今後の拡張方針	<input checked="" type="checkbox"/> システム連携 <input type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安 <input type="checkbox"/> その他 ()		
	<具体的な活用方法> 郵便料金の値上がりもあったため、ウェブ明細の導入を検討中。		
自己評価 (5点満点) 5点=大変だった ↓ 1点=大変でなかった	作業項目	評価	評価5点または4点の具体的な内容
	申請作業	2点	
	メーカー選定	2点	
	事前周知	4点	設置までに時間がなく客先周知が大変だった。
	設置工事	2点	
	試運転	2点	
	その他	3点	
申請からこれまでにあった反響・意見・要望等(社内、取引先、お客様等)			
補助事業申請予定事業者へのアドバイス(こうしておけば良かった、注意すべき点等)	約10年前に集中監視を導入し、NCUを1,097件設置したが、交換の時期が重なるため、対応が大変になっている。補助を活用し、段階的に設置することが望ましいと思う。		
構造改善事業において今後支援を望むこと(具体的な内容)			